

さあ、2学期がスタートしました。9月1日から総合型選抜（A O入試）の出願が始まりました。総合型で出願するためには、志望理由書・自己PRなどは約2,000字以上書かなければならない大学が多いです。2,000字のものを完成させようとすると、約4,000字か約6,000字の文章を用意して、絞り込んで2,000字にまとめていかなければなりません。そのためには、**最低でも1か月はかかります。**

なぜ1か月もかかるのでしょうか。それは、以下の①~⑤を調べて、文章に書く→先生にチェックしてもらう→調べて書く→先生チェック→調べて書く→先生チェック→調べて書く→……先生にOKもらう→清書！という流れで完成させなければならないからです。ちなみに清書も時間をかけて、丁寧に書いてください。

君たちが最初に書く文章は口語体といって言葉で話す言葉で文章を書いていることもありますので、それではダメです。例えば、「びっくりした×→驚いた○」「なので×→だから○」という具合に直していかなければなりません。しかも、自分の考え・思いを読み手に伝えるための文章にしなければなりません。時間がかかるのです。

志望理由書を書くために先生とやり取りをしていると、実は面接練習になっています。また、小論文練習もしています。だから、志望理由書に真剣に取り組んで下さい。

○大学が志望理由書・小論文・面接・グループディスカッション等で見ているポイント

- ・考える力・行動する力・言葉にする力があるか否か
- ・学部が求める適性・資質を持っているか否か（学部により異なる、アドミッションポリシーを確認すること）
- ・対人能力を見ている（面接で、頷いたり、笑顔を見せたり、表情豊かか否か）
- ・この人は何の課題を解決したいの？→疑問に感じたことを、本を読んで少しでも解決させているか否か
- ・資格取得や職業を通して、果たす社会的役割は何？
- ・高校で取得した資格や取り組んできたことを大学でどう活かすの？資格取得だけではマイナス点。

○志望理由書のヒントになるかもしれないモノ

- ・エデュチャやSDGs FESTIVALなどは、無料で、オンラインでSDGsにおける様々な課題を解決するための取り組みを紹介している。このように無料でオンラインでのイベントを調べてみよう。



・エデュチャは、高校生向けのイベントです。個人ではなく企業だからこそ担えるSDGsへのあらゆる取り組み方に触れてください。講師の先生は、企業のSDGs担当者です。内容は、「企業がSDGsに取り組むワケ」「未来の創り手になるみなさまへ」「物流は新領域へ」「樂をしたいから始まる社会課題解決」など。

・日経SDGs FESTIVALの内容は、「プラスチック資源循環で目指すカーボンニュートラル」「ジェンダーギャップ会議、次世代につなげる、グローバルで活躍する女性リーダーたち」「ステークホルダーに届く非財務情報開示」「貴校変動をはじめとするSDGs達成のためにメディアができること」などです。

○合格するためのポイント

①情報を集めよ！・・・面接の形式、過去問題（小論文など）をチェックして傾向をみること→受験報告書で確認

②面接は練習あるのみ！・・・面接の形式（1対3とか1対1とか）は数年続く→受験報告書で確認

- ・自己理解・自分について論理的に話す力があるか否か

事実だけでなく、自分の考えを示すこと→PREP法が良い。**PREP法**：聞き手に賢く感じられる答え方

- ・面接では、面接官が話をしていることに自ら意識して、頷いたり、笑顔を見せたり、表情豊かに反応する

- ・わからないことがあれば自ら言葉を出して確認する

- ・面接で聞かれること、見られていること

ex)資格取得でどのような社会的役割を果たしたいの？

高校で取得した資格をどう大学の学びに活かすの？



③志望理由書はきちんと仕上げよ！・・・志望理由書は受験当日に向けて準備ができるもの。

- ・現在の社会的な課題を知ろう→本を読む。ガイアの夜明けなどテレビ東京系列の番組を見る。

新聞を読む。ニュースを見る。

※「調べる」→ネット情報だけはむしろマイナス点 本が一番良いけど。

- ・その課題の根拠、解決方法の根拠を調べよう。

→努力して、手間をかけて調べていない情報は、根拠ではない

- ・志望理由書を書くために以下のように動いてほしい。

体験がきっかけ→その体験から疑問がでた、別の視点で考えてみた→その疑問の答えを見つけるために動いた、自分と違う意見の人の話を聞いた。調べた。→新たに気づいたことがあった、新しい疑問をもった→

さらにその疑問の答えを見つけるために動いた

ex) 簿記を活かした仕事に就きたい

税理士になる→税理士の仕事内容や税理士になるために必要な力を調べる→税理士を取り巻く社会的な課題を調べる→その課題を解決する方法を調べる→進学したい大学でその課題を解決する方法を学べるか？税理士になるためのサポートがあるか？調べる→その仕事に就いて社会貢献したい！

税理士になる→税理士の仕事内容や税理士になるために必要な力を調べる→税理士を取り巻く社会的な課題を調べる→その課題を解決する方法を調べる→進学したい大学でその課題を解決する方法を学べるか？税理士になるためのサポートがあるか？調べる→その仕事に就いて社会貢献したい！

税理士になる→税理士の仕事内容や税理士になるために必要な力を調べる→税理士を取り巻く社会的な課題を調べる→その課題を解決する方法を調べる→進学したい大学でその課題を解決する方法を学べるか？税理士になるためのサポートがあるか？調べる→その仕事に就いて社会貢献したい！

税理士になる→税理士の仕事内容や税理士になるために必要な力を調べる→税理士を取り巻く社会的な課題を調べる→その課題を解決する方法を調べる→進学したい大学でその課題を解決する方法を学べるか？税理士になるためのサポートがあるか？調べる→その仕事に就いて社会貢献したい！

④小論文練習のポイント

- ・形を知る

小論文問題集や大学の過去問を解いてみる→先生にチェックしてもらおう→解き直し→先生にチェック

してもらおう→次の問題→先生チェック→・・・

- ・言葉・用語を知る。

- ・ニュースを見る、日々の出来事、社会的な経済的なニュースをチェック

→スマートニュース、Yahoo!のニュース、テレビのニュース、新聞

- ・現代用語の基礎知識という本や時事問題の本を読む



⑤志望学部の「推薦図書」は読むべき。経済学部ならば、経済などの社会科学系の「推薦図書」を読む。



○進学合宿報告 進路講話① 「受験に向けて」セントラルルーツ教育研究所 中根彰宏 氏

人生 100 年時代、将来の仕事やキャリア形成について考え、どんな大学へ進むのかを考えてほしい。大

学卒業時の就職試験で問われる適正検査は「言語テスト（国語・英語）」と「非言語テスト（数学）」である。

また、面接で問われるのは、社会人基礎力（主体性、課題発見力、柔軟性など）である。だからこそ、今勉強しておい

て損はない。具体的に 10 年後の自分がどんな活躍しているか（どこで、だれと、どんな仕事？）をイメージして描け

るようになっていこう。主体的な学習態度を身につけるために「将来こういう風でありたい」を持っているのか、その

ために何をすべきか分かっているか、そして実行しているか、が大切である。「行動力&対人力」、「熱意&主体性&チャ

レンジ精神」など、企業が求める力を養っているかで大学を測ると偏差値で見た時の順位と違う大学が上位に来る。自

分が身につけたい力をどの大学でつけるのかを考えることが必要。「習いたい先生がその大学にいるから」でも良い。